

編集後記

第18巻も本号で2号目となります。前号の山田雄三当研究所顧問の書評につづいて星野信也東京都立大学教授にT. H. マーシャル『福祉に対する権利』の書評をお願いしました。また、動向欄判例評釈では堀木訴訟上告審判決を取り上げ、子細に論じています。所内の堀勝洋主任研究員の担当です。

わが国の社会保障を取り巻く環境は急激に変化しています。もちろん、制度の面から理念の面からも再検討が行なわれつつあります。現状の問題点の正確な認識と将来予想のための新たな手法の開発等が望まれるところです。しかし、その一方で、現象論に陥らないように地道で着実な基礎研究とデータの収集の積み重ね、そして豊かな構想力もおおざりに出来ません。社会保障に関する諸研究や調査が単なる現状追認の作業に終わらないためにもぜひ必要なことです。

当研究所の英文名は、The Social Development Research Institute と記します。そこに、単なる社会保障の再検討ではなく、将来に向けて社会保障の役割を新たに見いだしていく積極的な立場が表明されていると言えないでしょうか。(栃本)

編集委員長 福 武 直 (社会保障研究所長)

編集委員 青井和夫 (津田塾大学教授)
飯野靖四 (慶応義塾大学教授)
小沼正 (駒沢大学教授)
小林良二 (東京都立大学助教授)
小山路男 (上智大学教授)

地主重美 (千葉大学教授)
平石長久 (社会保障研究所調査部長)
保坂哲哉 (金沢大学教授)
三浦文夫 (日本社会事業大学教授)
安川正彬 (慶応義塾大学教授)

編集幹事 城戸喜子 (社会保障研究所主任研究員)
高橋紘士 (社会保障研究所研究員)

栃本一三郎 (社会保障研究所研究員)

(五十音順)

季刊

社会保障研究 Vol. 18, No. 2, Autumn 1982

(通巻 77 号)

昭和 57 年 9 月 25 日 発 行

編集・発行所

社 会 保 障 研 究 所

〒100 東京都千代田区霞が関3丁目3番4号

社会事業会館内 電話 (580) 2 5 1 1

製 作

財団法人 東 京 大 学 出 版 会

〒113 東京都文京区本郷7丁目3番地の1

電話 (811) 8 8 1 4